



# TRD-1000G

ラジアルボール盤 切粉カット装置内蔵



信頼と実績  
大阪機械回地機械業会  
supported by  
大阪機械卸業団地協同組合事務局

株式会社 東亜機械製作所

# TRD-1000G

## ラジアルボール盤の能力を倍加する 新型の切粉カット装置を内蔵

### 特 長

TRD-1000Gは、従来のTRD-1000F型を基本モデルにしてこれに切粉カット装置を内蔵させてスチール、ステン等の加工に適するように能力を倍加させたタイプです。

#### ■切粉カット装置(特許出願済)

これは切粉を連続切断する装置でスチール、ステンレスの穴明でも切粉がドリルに巻き付かないので、能率が上がり安全作業ができる。このカット装置の性能と効果は

- (1)機械本体に衝撃を与えず、しかも確実に切粉を切断する。
- (2)主軸後退速さが前進の2.5倍であるため、ロスタイムが無く瞬時に切断する。
- (3)ステップ量(切削加工時間)をタイマーで設定するため切れる切粉の長さを自由に調節できる。
- (4)切粉の排出性及び切削液のドリル刃先への浸入性が良好となり、刃先の鈍摩、折損を防止する。

#### ■剛性の高い主軸

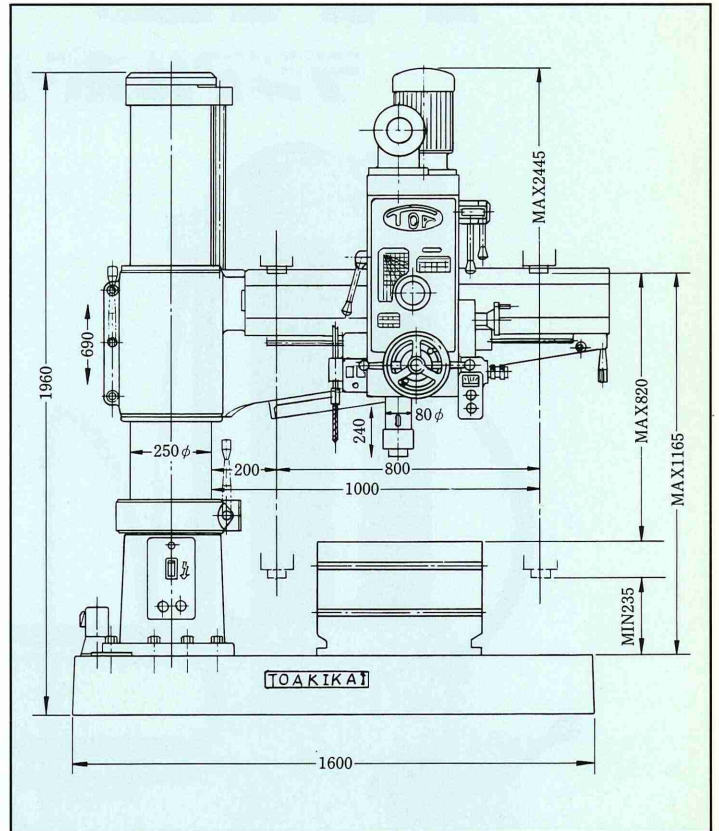
高速重切削に耐え得るよう十分な太さと剛性を持たせ、更に熱処理後精密研磨加工を施し軸受は3点支持方式の採用により強力な精密加工が出来ます。

#### ■アーム摺動面

高級鋳鉄を使用し焼入れ研磨加工が施されて、永に耐用年数と精度保持を保証しています。

#### ■各部の安全装置

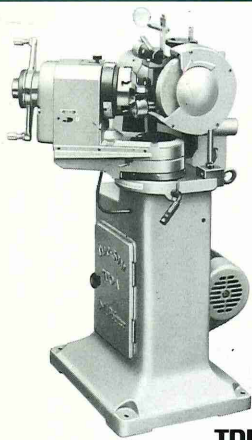
送り過負荷装置、昇降メネジ破損によるアーム落下防止装置、アーム昇降上下端停止装置、主軸送り最下端での主軸モータ停止装置、アームクランプリミット装置等、電気的、機械的にも十分な安全機構が組込まれています。



### 主 要 寸 法

主 要 項 目	(単位mm)	備考
コラム表面と主軸中心距離	最大	1,000
	最小	200
主軸頭のアーム上の横移動距離	最大	800
主軸端とベッド面距離	最大	1,165
	最小	235
アーム上下移動距離		690
主軸上下移動距離		240
コラム直径		250
最高高さ		2,445
コラム高さ×ベッド長さ×ベッド巾		1960×1600×700
主軸端とテーブル面距離	最大	820
孔 明 能 力		50 鋳鉄
		45 鋼
タ ッ ピ ン グ 能 力		32 鋳鉄
		25 鋼
主 軸 テ ー パ ー 孔		MTNo.4
主 軸 回 転 数	9段	58~1464(RPM)
主 軸 送 り 量	3段	0.1~0.2~0.3 (mm/R E V)
主 軸 直 径	主軸/クイル	φ50/φ80
電 動 機 ア ー ム 上 下 用		0.55KW
電 動 機 主 軸 用		2.2 KW
作業テーブル長さ×巾×高さ		500×400×345
重 量		1,800 kg

### 東亜のドリル研削盤もご愛用下さい。



**TDP-50M** <研削能力 6φ~50φ>

ラジアルボール盤の加工精度と能率の向上は、使用するドリルの精度、切味によって左右されます。当社のドリル研削機を使えば誰でも簡単に多様な形状のドリルが研削できます。

- 標準付属品
  - ・作業テーブル…1個
  - ・作業用照明ランプ…1式
  - ・クーラントポンプ及ノズル…1式
  - ・主要工具…1式

- 特別仕様 エアークランプ(コラム旋回及び主軸ケース)

※本機には標準仕様でエアーコンプレッサーが必要です。

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。